

## 本時のねらい

・タブレットの使い方を確認し、Chrome book を上手に活用するための必要な考え方や態度を養う。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・Chrome book の扱い方を表すイラストから気になる所を見つけ、ムーブノートのスタンプを押し、Chrome book の取扱いを理解する。  
・スタンプの集計機能を使い、全員のスタンプの押した場所を 1 つのデータに集約して全体で共有し、Chrome book 取扱いの理解を深めることができる。

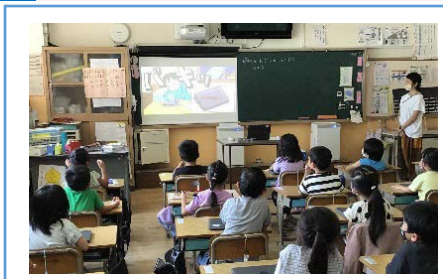
## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Web サイト「ネット社会の歩き方：ギーガのトリセツ」  
・SNS ノートおおさか  
・ムーブノート  
・電子黒板  
・Inter CLASS Cloud

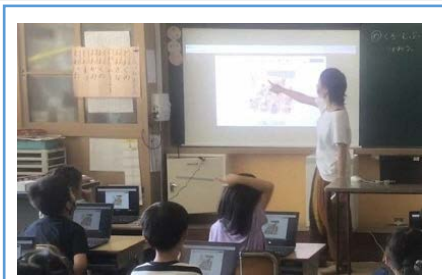
## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	○今日のめあて「Chrome book をじょうずにつかおう」を知る。 ・Web サイト「ネット社会の歩き方：ギーガのトリセツ」の動画を見る。【写真1】 ○動画視聴後、ギーガの苦手なことを発表する。	・「ネット社会の歩き方：ギーガのトリセツ」の動画を見ることで、Chrome book の取扱いに対し興味を持たせ、児童に視覚的に取扱いについてわかりやすく伝えることができる。
展開 (30分)	○SNS ノート「タブレットを上手にかつようしよう」(P5) の絵を見て、気になるところを見つける。 ・ムーブノートのカードに貼り付けたシートの気になるところにスタンプを押す。 ・広場に提出し、友だちのカードを見る。【写真2】 ○スタンプを押した理由を発表する。 ○スタンプの集計結果から Chrome book を上手に活用するルールを考える。 ・先生が話している時 ・授業中の時 ・持ち帰った時 など	・ムーブノートのスタンプ機能を活用することで、児童は気になる所に簡単に表現することができる。 ・ムーブノートの「ひろば」に提出し、自分がスタンプを押していない箇所に友だちがなぜ押したかを考え、比べることができる。 ・即座に集計することで、全員のスタンプの押した場所をすぐに確認し、全体で共有ができ、考えを深めることができる。
まとめ (8分)	○まとめの話 ・Chrome book の使い方のスライドを見て再度、確認する。 ○ふりかえり ・今日の学習について気持ちのスマイルスタンプを押す。【写真3】	・今日学んだ Chrome book の取扱いについてスライドで再度確認し、児童の理解を深める ・スタンプ機能で、簡単に今日の学習のふりかえりができる。

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】WEB サイトの動画を見ている場面



【写真2】みんなのスタンプの場所を広場で確認している場面



【写真3】ふりかえりのスマイルにスタンプを押している場面

## 児童生徒の反応や変容

・学校生活の中で、Chrome book を使用するにあたり、動画での説明は児童にとって興味深く、どのような点に気を付けて取り扱うべきかわかりやすかった。また、気になるところにしっかり考えてスタンプを押していた。児童たちは授業後も、ルールを守って大事に扱っている。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・スタンプ機能を使うことで簡単に集計ができ、スタンプの押した場所を 1 つのデータに集約することができるので、視覚的にもわかりやすく、児童たちの理解を把握することができた。

・友だちのスタンプを見ることで、自分とは違う考えを知り、取扱いのルールを再確認できた。

・クロームブックの使用開始の時期に行う今回の授業は、ルールを守って使用しようという気持ちが生まれ、非常に有効だったと感じた。